

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-97455

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)5月6日

H 04 M 1/03

7608-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 送受話器

⑯ 特 願 昭60-236647

⑰ 出 願 昭60(1985)10月22日

⑱ 発 明 者 高 見 寛 明 東京都港区西新橋3丁目20番4号 日本電気エンジニアリング株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

送受話器

2. 特許請求の範囲

電話機の送受話器の送話側および受話側の双方にそれぞれ送話部および受話部の両方を備えとともに、送話側および受話側においていずれか一方の側が送話部をそして他方の側が受話部を選択して切替える切替器を備えることを特徴とする送受話器。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は電話機の送受話器に関する。

〔従来の技術〕

従来、電話機の送受話器においては、送話側と受話側とはいずれも定められた位置にあり、そして通話機能に関しては、送話側は送話機能のみを、

また受話側は受話機能のみを有するものである。この結果、通話者は送受話器の持ち方については常に注意を伴い、特定の決まった向きに送受話器を持って使用しなければならない。また特に、最近の無線式の電話機の送受話器にはケーブルが接続されていないので、通話者が送受話器の送話側と受話側との区別を容易に識別できるようなデザインが要求されている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

本発明の目的は、上記の従来の欠点を除去することによって、電話機の送受話器の送話側と受話側とを特に意識することなく送受話器を使用することができるようにすることにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明による送受話器は、送受話器の送話側および受話側の双方にそれぞれ送話部および受話部の両方を有し、送受話器の送話側および受話側において、いずれか一方の側が送話部をそして他方の側が受話部を選択して切替える切替器を有する。

〔実施例〕

次に本発明の実施例を図面を用いて説明する。

第1図は本発明の実施例のブロック図で、1、4は受話部、2、3は送話部、5は、送話部2および受話部1の組かあるいは送話部3および受話部4の組か、いずれの組かを選択して切替える切替器である。第2図は第1図の受話部1、4と送話部2、4と切替器5とを有する送受話器を説明する図である。第2図を参照すると、送受話器の一方(以下「A側」という。)には受話部1および送話部3が備えられ、他方(以下「B側」という。)には送話部2および受話部4が備えられる。また切替器5は送受話器のA側およびB側の上下の位置関係を検出し、その検出の結果により切替動作を行なう。その切替器5の切替スイッチ部は第1図に示すように接続されA側が上の場合にはA側の受話部1とB側の送話部2とが、またB側が上の場合にはA側の送話部3とB側の受話部4とが電話機の網回路に接続される。

以上のように構成にすることにより、A側を耳に当てこのA側を受話側とすると、A側はB側に

較べ上の位置となり、切替器5の動作によりA側では受話部1が、またB側では送話部2が電話機の網回路に接続される。またこれとは逆に、B側を耳に当てこのB側を受話側とすると、B側はA側に較べ上の位置となり、切替器5の動作によりA側では送話部3が、またB側では受話部4が電話機の網回路に接続される。すなわち、送受話器をどちら向きに使用しても、上側になった方が受話側となり、下側になった方が送話側となるように切替器が動作する。

以上説明したように本実施例では、A側およびB側の上下の位置関係を検出することにより、送話部と受話部との切替えをしたが、この手段に限らず、例えば手動スイッチでこれらを切替える、等他の方法でもこれらを切替えることは可能である。また本実施例では説明を容易に理解できるように送話部2と受話部1とは分離された別のものとして説明したが、これら^を一体にして送話機能と受話機能との両方の機能を有する装置を使用しても、上記と全く同様に本発明を実施することがで

- 3 -

きることは容易に解る。

〔発明の効果〕

以上述べたように、送受話器の送話側および受話側の双方に送話機能および受話機能を備えることにより、通話者はいずれが送受話器の送話側であるかまたは受話側であるかをまったく意識することなく送受話器を使用することができるので、特に、老人あるいは身体障害者、等にとっては至極便利である。また無線電話機の場合のように、電話コードを備えていない送受話器、等においてはデザイン上の柔軟性にも富む。例えば本実施例において、A側を上にした場合は右手で持ちやすく、B側を上にした場合は左手で持ちやすいデザインにするなどが考えられる。また、本発明は、自動車電話においても、運転中いずれが送話側であるかまたは受話側であるかを特に気にすることなく電話機の送受話器を使用できるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

- 5 -

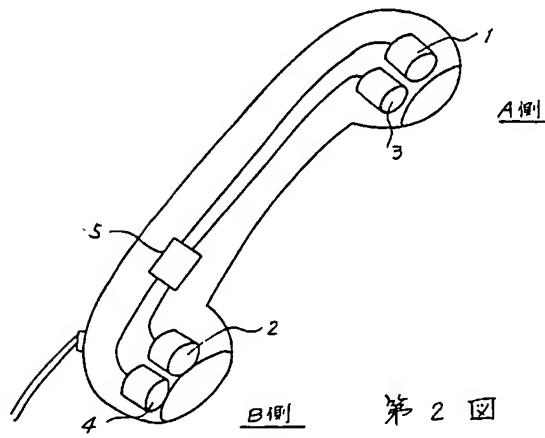
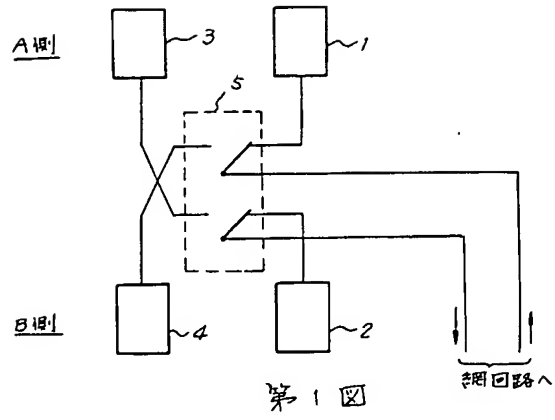
第1図は本発明の実施例のブロック図、第2図は第1図の受話部と送話部と切替器とを有する送受話器を説明する図である。

1、4……受話部、2、3……送話部、5……切替器。

代理人 弁理士 内 原 晋



- 6 -



PAT-NO: JP362097455A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 62097455 A
TITLE: HANDSET
PUBN-DATE: May 6, 1987

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
TAKAMI, HIROAKI

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NEC CORP N/A

APPL-NO: JP60236647
APPL-DATE: October 22, 1985

INT-CL (IPC): H04M001/03
US-CL-CURRENT: 379/422

ABSTRACT:

PURPOSE: To use a handset without awarding of a transmission side or a receiving side especially by providing a transmitting part and receiving part respectively at both the transmission side and the receiving side of the handset.

CONSTITUTION: A receiving part 1 and a transmitting part 3 are provided on one side of the handset, and also a transmitting part 2 and a receiving part 4 are provided on the other side. Also, a switcher 5 detects the position relation between an A side and a B side in an upper or a

lower directions, and
performs a switching operation based upon a detected
result. Thereby, for
example, assuming that the A side is pressed on ear and is
set as the receiving
side, the A side is positioned at an upper position
compared with the B side,
and by the operation of the switcher 5, the receiving part
1 at the A side, and
the transmitting part 2 at the B side re connected to the
line network of a
telephone set.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio